

# 仙台大学通信教育指導室メールマガジン 第56号

通信教育指導室から、こんにちは。

前号で紹介したアナグラムを使った坪田先生のアイスブレーキング、そして、正木先生の「指折り計算法」のススメ、さすがでしたね。

さて今回は、**ハンズオン・マス**の第一人者・坪田先生の面目躍如。大量の1円玉を駆使した、九九表のヒミツを探る楽しい授業を紹介します。

意外な発見や気づきが算数好きをつくります。



坪田耕三先生

## 九九表の秘密 – 1円玉を重ねて並べたら何円になる？

T：今日は特別に先生の宝物を持ってきました。ポケットに入っています。

（上着のポケットを揺らして、音を聞かせる）宝物が何か、当てられるかな？

C：う～ん、宝と言えば、やっぱりお金かな？（同様の意見、多数）

T：みんな先生のことをお見通しだね。今日は先生の宝物の1円玉を全部持ってきました。

（全員に1円玉を1枚ずつ配る）それでは、定規を使って1円玉の直径を測ってみて！

C：お～っ、2cmぴったりだ。ということは、半径は1cmちょうどだね。すげーっ！

T：しかも～、1円玉の重さは、なんとぴったり1gなんだよ。すごいね～。

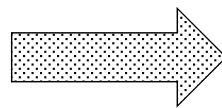
さて今日は、その1円玉を使った問題にチャレンジしてみたいと思います。

九九表があります。右の写真のように、九九表の各マスの上に、そのマスに入っている数と同じ枚数の1円玉を積み上げます。

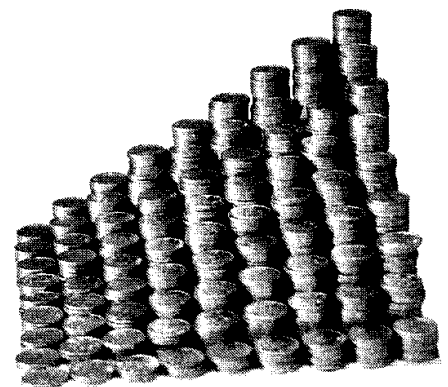
1円玉は全部で何枚必要ですか。

9	18	27	36	45	54	63	72	81
8	16	24	32	40	48	56	64	72
7	14	21	28	35	42	49	56	63
6	12	18	24	30	36	42	48	54
5	10	15	20	25	30	35	40	45
4	8	12	16	20	24	28	32	36
3	6	9	12	15	18	21	24	27
2	4	6	8	10	12	14	16	18
1	2	3	4	5	6	7	8	9

九九表



左の九九表の上に、各マスの中の数だけ1円玉を積み上げます。



1円玉は全部で何枚必要かな？

T：難しそうだね。できそうかな？ これから配る先生オリジナルの1マス2cm四方の九九表を使い、4人グループでワイワイガヤガヤ、自由に考えてみよう！

